

石神の丘美術館に新収蔵された三沢厚彦さんと西野康造さんの作品を〈花とアート of 森〉に設置した後、ちょっと不思議なことが起きました。以前からあった石彫について「これ、前からありましたっけ?」と訊かれるのです。実は私も同様のことを感じていました。三沢さんと西野さんの作品が加わったことによる相乗効果なのでしょうか、これまであった作品も新鮮な輝きを放ちだしたのです。

さて、石神の丘美術館アートゲートのホールでは、西野康造さんの《風が語ってくれたこと》

を特別展示中です。これは、〈花とアート of 森〉に新収蔵された高さ7mの《Harmony with the Breeze 2020》と高さ6mの《Swing in the Air 2020》のおよそ10分の1のサイズながら、それらとはまた違った感動を与えてくれます。風のないはずの室内に設置されているのに、エアコンの微かな空気の流れて繊細な動きを見せるのです。

この小さな作品が展示されたことによって、館内に「現代美術館」の空気が横溢しはじめました。作品が持つ力を改めて感じました。

Ishibi

石神の丘美術館通信 イシビ

2021.9 Vol.215



Ishigami Museum of Art



道の駅 石神の丘からのお知らせ

産直 石神の丘

9:00-18:00
TEL 0195-61-1600



キャベタリアン宣言 リニューアル

- ▶キャベタリアン宣言
にんにく塩味 200ml
 - ▶キャベタリアン宣言
ゆず醤油味 200ml
- 各390円(税込)

キャベツ栽培の歴史100年を誇る岩手町。美味しいキャベツをより美味しくする大人気のキャベツ専用ドレッシング〈キャベタリアン宣言〉がリニューアル。

レストラン 石神の丘

10:30-18:00 (L.O.17:30)
TEL 0195-61-1602



ミニサラダ & 岩泉ヨーグルト付き
ボリュームたっぷりお得なメニュー

三陸産
ひらめの漬け丼
ミニそばセット

一日限定15食
1,100円(税込)



◀ お弁当・オードブルなどテイクアウトメニュー
についてはこちらをチェック!



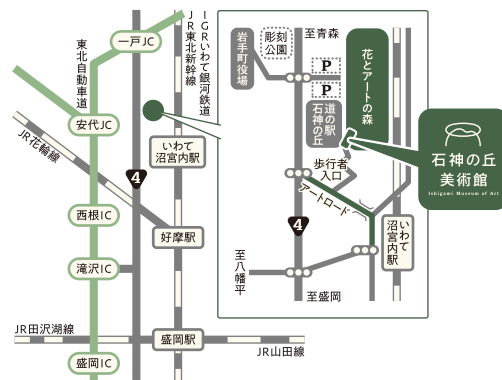
石神の丘
美術館

Ishigami Museum of Art

〒028-4307
岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-121-21
TEL 0195-62-1453 FAX 0195-62-1477

U R L <https://ishigami-iwate.jp>
Twitter https://twitter.com/ishigami_muse
Instagram https://instagram.com/ishigami_muse

新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防および拡散防止のため、ご来館の際はマスクの着用、検温、手指消毒、入館者記録への記入をお願いしています。



石神の丘美術館野外エリアが〈花とアート of 森〉としてリニューアルオープンしてから1年が過ぎようとしています。新たに植栽された草花は、季節や天候、時間帯によってさまざまな表情を見せながら、ゆっくりと石神の丘の環境に馴染んできたようです。

少しずつ気温が下がるこれからの時期、美しさを増すのはグラス類。グラスとは、葉の色や形が魅力的な草のこと。イングリッシュガーデンをイメージした〈くねくね坂〉や〈空の広場〉では、秋の陽光を浴びて黄金色に輝くグラスをお楽しみいただけます。



クリ

ヤマボウシの実

イングリッシュオークのドングリ

秋の実、いろいろ。

〈花とアートの森〉では、秋の実が続々と実り始めています。クリ拾いを心待ちにしていられる方も多いのではないのでしょうか。また、ドングリ好きの方には〈南の広場〉のイングリッシュオークをオススメします。この木は、日英同盟締結100周年記念の一環として植樹されたもので、とっても大きなドングリがなります。落ちて実はお持ち帰りOK。そのままにしておくとゾウムシの幼虫が出てくることがありますので、熱湯・冷凍処理などをお忘れなく！



アキアカネ

ホール 特別展示

彫刻家・西野 康造さんの 《風が語ってくれたこと》特別展示中

美術館ホールでは、〈花とアートの森〉で羽ばたく野外作品《Harmony with the Breeze 2020》《Swing in the Air 2020》の作者・西野康造さんの屋内作品を特別展示しています。空調や人の動きに応じて羽ばたく作品。ぜひご覧ください。



North Wind Project／北から吹く風 Vol.3

目と手でみている 菊池 咲 小松崎 晃 千葉 幸子

2021年9月11日(土)～10月31日(日)

シリーズ企画「North Wind Project／北から吹く風」の第3回展を開催します。このシリーズは、岩手にゆかりある若い世代の美術家をゆるやかなテーマのもとで紹介するものです。今回は、菊池咲(奥州市在住)、小松崎晃(盛岡市生まれ・神奈川県在住)、千葉幸子(盛岡市在住)の作品をとりあげます。

三者が描くのは、私たちの日常のそばにあるもの、生きるものです。昨今、人の営みが危ういバランスの上に成り立っているのだということを感じさせる出来事が続いています。その中であって、身近な事物を、目で触れるように、手でかくように描かれた作品は、一見優しく穏やかな画面ながら、そこから強さや確かさが滲んでくるようです。画家の視点とそれを表す方法や画材にもご注目ください。



菊池 咲 《タヌキたち》
2021年



小松崎 晃 《首を丸める鳥》
2021年



千葉 幸子 《ちょうちん小景》(部分)
2021年

開館時間 9:00～17:00(最終入場 16:30)
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合その翌日)
観覧料金 一般 300円／高校生以下無料
＊〈花とアートの森〉共通観覧券 700円